

令和5年度第1回定時理事会議事要旨

- 1 開催日時 令和5年6月12日(月曜日) 午前10時00分から午前11時00分まで
- 2 場 所 公益財団法人 東京都つながり創生財団
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル8階
- 3 理事の現在数 6名
- 4 出席理事の数及び氏名 6名 マリ クリスティーヌ
松井 真司
矢崎 理恵
遠藤 由紀夫
横山 宏
押味 亜希子
- 5 出席監事の数及び氏名 1名 有我 康子
- 6 議 長 マリ クリスティーヌ
- 7 議事録署名人 マリ クリスティーヌ
有我 康子
- 8 決議事項
第1号議案 令和4年度事業報告及び決算承認の件
第2号議案 評議員・理事・監事候補者の選任の件
第3号議案 令和5年度第1回定時評議員会招集の件
- 9 報告事項
理事長及び常務理事の職務執行状況について
- 10 議事の経過
(1) 開会
冒頭、本会が定足数を満たし、理事会として有効に成立していること及び定款第42

条第2項の規定に基づき、本会の議事録には理事長及び出席監事が記名押印することの報告があったのち議事に入った。

(2) 議案説明

ア 「第1号議案 令和4年度事業報告及び決算承認の件」について、資料に基づき事務局から説明を行った。事務局による説明の終了後、以下の発言があった。

(質問)

・事業報告において、多言語相談ナビの相談件数の報告を受けたが、カウントの方法を教えていただきたい。

(回答)

・相談内容を記録するために相談票を作成しており、その数をカウントしている。

(質問)

・東京都多文化共生ポータルサイトに「TIPS」という愛称を付けることはとても良い取組だと思うが、これを広めるためにどのような広報を検討しているか。

(回答)

・検索上位に表示する方法については、専門家に相談しながら今年度取り組む予定である。

・TIPSについては、昨年度の理事会で、外国人からの意見も取り入れて改修するようご意見をいただいたため、Twitterでアンケートを実施したり、多言語支援員に意見を出していただき、それを反映させるなどして改修をおこなった。またTIPSという愛称はまだ十分には名前が知られておらず、今後広報が必要だと感じている。

(質問)

・やさしい日本語に関する都民の意識調査はどのように行ったのか。

(回答)

・委託業者に依頼して、インターネット調査を実施した。

イ 「第2号議案 評議員・理事・監事候補者の選任の件」について、資料に基づき事務局から説明を行った。事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

ウ 「第3号議案 令和5年度第1回定時評議員会招集の件」について、事務局から資料に基づき説明を行った。事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

(3) 決議

議長が、第1号議案から第3号議案まで一括で決議を求めた。この結果、異議はなく、全議案について出席理事の全会一致をもって原案どおり可決された。

11 報告事項

理事長及び常務理事の職務執行状況について、資料に基づき、事務局から報告を行った。事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

12 その他

令和5年度第1回定時評議員会の終結の時をもって任期が満了する遠藤由紀夫理事、横山宏理事から退任の挨拶があった。

その後、議長から、その他の発言を求めたところ以下の発言があった。

(質問)

・町会・自治会でのマッチング支援事業について、具体的にどのような事例があったか教えていただきたい。

(回答)

・昨年の実績で例を挙げると、町会・自治会のホームページ作成に関して、ITスキルのあるボランティアの方とマッチングを行った事例がある。他にも、地域のお祭りなどのイベントにおいて、写真撮影のスキルを持つボランティアの方とマッチングを行った事例がある。

(意見)

・多文化共生ポータルサイトはリニューアルして大変よくなった。今後も知名度を上げていくために、より利用者が増えていけばよいと思う。

(意見)

・外国人にとって重要な情報は、医療である。保険加入や費用負担等、医療に関する情報は需要が非常に大きい。

(回答)

・医療分野への問題意識は事務局でも持っている。また、医療を含めたコミュニティ通訳に関する要望も多いので、各国際交流協会等に登録しているボランティアの全体的なスキルアップのため、外国人支援ネットワークを通じて研修会を実施したところである。

・医療支援では、ボランティアが病院に同行すると、受付のみならず診察の通訳まで頼まれるなど医療に近いことを任されてしまうこともあり、何かあった時の責任等の課題もある。

(質問)

・町会・自治会を担っている方はどのような世代なのか。

(回答)

・地域差はあるものの、比較的世代が高いところが多い。また、家族世帯をどれだけ町会・自治会の活動に巻き込んでいけるかという点を課題に感じているところも多い。町会・自治会の加入者を増やしたいという声もあるが、決まった方法がある訳ではないため、地域の方の声を聞きながら対応している。例えば家族世帯向けであれば、子供の防

災をきっかけにしたイベントを案内することで防災に関わる方を増やすなど、地域の方と一緒に考えながら実施しているところである。

・外国人が増えているので町会・自治会の活動にも関わって交流を増やしていただきたいという町会の意見もあり、外国人が参加しやすい防災訓練を実施したところ、防災会に非常に多くの方に加入いただいた。住民に占める外国人の割合も大きくなってきており、町会・自治会もどのように関わっていくかというところに意識が向いてきている印象である。多文化部門ともうまく連携して事業を進めていきたい。

(意見)

・町会・自治会の一番の課題は、担い手の高齢化である。役員会の時間帯を考えるなど、次の世代が入りやすい形を整えることが重要である。

・外国人も地域の中に増えてきており、今後地域の担い手になりうる存在であるため、防災等を通して町会・自治会のことを知ってもらい、担い手になっていただけるよう各町会・自治会で努力している。

13 閉会

以上をもって議事が終了したため、議長が閉会を宣言し、令和5年度第1回定時理事会を終了した。